

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



吉田つとむは議長選に出る

町田市議会選挙が2月20日(日)に終了し、3月9日(水)が正規に議員になった日でした。この間に実質的な議員活動を行っていましたが、正式なスタートです。議長選出までの間の本会議の進行は、年長として仮議長を務める吉田つとむが担当しました。

議長の選出は、投票による方法(通常選挙と同じく、一人の名前を書く方法)で行われました。3名が立候補しましたが、最大会派の戸塚正人議員が選出されました。吉田つとむは落選し、二度目の議長はなれませんでした。議長席の交代時、戸塚議長に握手をして祝しました。今回の議長選挙に際して、所属会派議員(新井よしなお議員、松岡みゆき議員)の支持を受けたことに感謝いたします。なお、吉田つとむは6期目の時に最少会派で議長になりましたが、それは異例中の異例な事態でした。



副議長選では、いわせ和子議員のみが立候補し、他に候補者がなく、同議員が議長の指名推薦で選ばれました。議会の役職を選ぶ方法では、一様ではないことを示せました。

所属会派名、所属委員会の説明

まず、前回に続いて町田市議会で、自分が所属する会派名について記載します。

会派名称を「無所属」としていますが、所属議員全員がどの政党に所属をせず、市議選挙ではどの政党からも推薦や支持を受けなかったことで、この名称としたものです。その結果、自らを表現するものとして「無所属」と決めたものです。議会の中では、3名以上を「会派」と言うグループとして認定しますが、その必要十分条件を満たしていることとなります。それ未達は、「諸派」とされます。



全議員の常任委員会所属が決まりました。吉田つとむは、「健康福祉常任委員」となりました。他に、会派から1名選出と言うことで、「災害対策委員」も務めることになりました。

今議会は、令和4年度の第1回定例会として開催されるもので、議会の人事がまず冒頭にあり、令和3年度の補正予算、令和4年度の当初予算と条例案などを審議し、さらに議員の一般質問を行う日程が定められています。また、住民請願などの審査も並行して行い、3月25日に表決、3月30日に一般質問日程の最終日と予定されています。

- ◎所属会派の名称はシンプルに「無所属」とし、3名の議員で構成しています。
- 支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。
- 吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月の選挙で、市議会議員選挙4期連続トップ当選となる

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



インターン体験記①柳原桃花

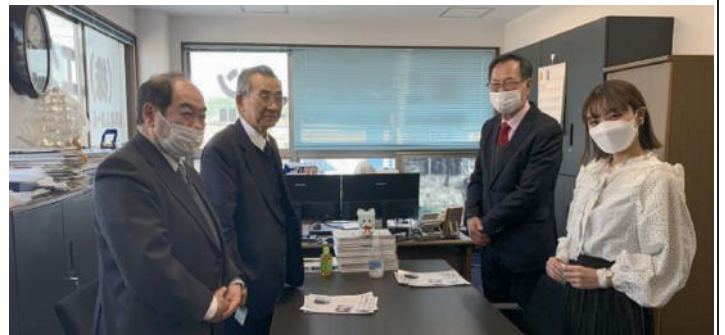
インターンシップに参加するにあたってこれから何をしていくか吉田さんと対談して決めることになりました。初めて、吉田さんにお会いするので、最初はお話するのに緊張しましたが、気さくな方で、すぐに緊張が解け、時間を忘れて楽しく対談することができました。



吉田さんはインターンシップ生を積極的に採用されていて、中には大学生の頃から参加し、社会人になった今もOBとして後輩に就活の話をしている方や、高校生から参加されている熱心な学生さんもいらっしゃるそうです。私は今年の春から大学三年生になります。一年生の時からコロナが流行り始め、就職ももうすぐ控えているのでとても不安です。わたしたちのような世代のことを吉田さんは、20年前の「就職氷河期世代」と比して、「就職コロナ期世代」と表示していました。就職状況が厳しく、国の支援が追い付かない今、中高年が若者を支援していくべきなのではないかと、対談の中で吉田さんは仰っていました。若者育成に目を向けてくださる方がいること、とてもありがたいことだと思います。自分もその気持ちに応えるべく、インターンシップに参加し、学んだことを就活に活かしていきたいです。

インターン体験記②柳原桃花

今回は、株式会社エクシオジャパンの社長さんにお話を伺うために、東林間へ行きました。会社名になっている「エクシオ」には、「殻を破り挑戦する」という意味がこめられています。エクシオジャパンは、発電・送電・配電や工場などで使われる工業用、動力用の大型電気、いわゆる重電の変電所の設備管理や、点検を行っている会社です。ですが、それだけでなく福祉の事業などにも挑戦していて、まさに殻破りを体現しているなど思いました。但野社長は、変電所の設備管理などの、仕事はあまり目立たない仕事だとも仰っていました。しかし、物やサービスがあふれかえっていて、さまざまな工夫をしてオリジナリティを出し、競合との差別化を図る必要があります。競争が激しく、価格競争になりやすい現代では、販売数が増えても企業に利益が残りにくいため、長期的に事業を維持するのは困難です。変電所の設備管理のような目立たない仕事を選ぶことで、このような事態を避け、会社の利益率を上げることができます。私は、マーケティング学科に所属していて、市場戦略についてお話を伺って、今まで目にとめていなかったポイントに着目することができ、とても良かったと思えました。



専修大学新3年生 柳原 桃花(第49期生)

◎ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年3月より49期生がスタート。

◎ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。